

【1ターンで大虫の里ぐらし】

私たち家族は2011年3月の福島第一原発事故を契機に、子育てに安全な場所を求め栃木から移住してきました。家族は、私と妻、3歳の息子と1歳の娘です。家は築70年の古民家で暖は薪ストーブで取り、お風呂も薪で焚く五右衛門風呂です。家族の会話やふれあいを大切にしたいのでテレビはついていません。

集落には私たち家族と、80歳後半のお婆ちゃんがお一人で暮らしています。冬の積雪がある時期以外は5家族の方が作物を育てに、麓から通っておられます。大虫には、人の生活と自然が調和した人里の原風景がまだ沢山残っており、五感を通して四季折々の変化を堪能できます。

私の一日の生活は主に家事と育児で、週末にはさいぎ文化センターでヨガの講師をし、また書家として看板や表札の作製、パッケージのデザインや作品作りもします。妻は研究職に就き、職場まで車で1時間程かけて通っています。

もうすぐ虫の舞う季節になります。雨の日以外は毎晩家族でお散歩するのが日課となるので、とても楽しみです。



大虫さくらまつり：キャンドルで枝垂桜をライトアップ



楠田さんご一家もカレーを作り、来場者へ振舞うなどして、地域の方々と交流しています。

大野・今昔物語

鉄道の発達と国道の整備

大野地区の道の移り変わり

明治二十一年山陽鉄道株式会社が創立され、明治三十四年に下関まで開通した。明治十二年には明治新道ができていたが、鉄道の大量輸送能力と移動時間の短縮効果により広域的な新しい観光文化産業を育むきっかけとなった。山陽鉄道は、急行列車、食堂車、寝台車など日本で初めてのサービスも多く生み出した。また、厳島遊覧割引切符発行等、観光客の誘致に積極的な経営を行った。

他方、明治新道は昭和七年整備がなされ、観光道路として生まれ変わる。広島市と景勝地宮島を結んだこの沿線は面目を一変し、井口、五日市、地御前には快適な海水浴場や遊園地などが開設され賑わった。

昭和八年、大野浦駅が設置され、昭和十年には宮島口まで観光道路として拡幅整備された。昭和十三年、宮島に日赤病院大野療養所が設置され宮島口までバスが運行された。宮島口以西の国道は昭和二十七年から昭和三十一年、大竹玖波に至るルートと海岸線に沿って改修された。昭和三十一年、八坂山隧道も完成した。

大野は狭い土地に古来の山陽道から西国街道そして国道2号線、自動車道、新幹線まで人とモノの動脈が集中していることが特徴だと言える。

(坂史朗記)

宮島口駅の蒸気機関車

記事協力 NPO法人おおのの風

原文を抜粋して掲載しています。原文はセンター交流スペースに掲示していますので、ぜひご覧ください。

ネットワーク団体からの お知らせコーナー

掲載希望の方はセンター受付まで！
次回37号は9月末発行予定です。

チームはつかいち

第4回 まち塾“本気で地域をつくる若者を育む”～NPO法人おっちらボの活動紹介～

日時：9月10日(土) 10:00～12:00

場所：串戸市民センター

参加費：無料(カフェコーナーあります)

申込み：下記メールアドレスにお名前、お申し込み人数をお送りください。

teamhatsukaichi@gmail.com



どうすれば若い人たちが地域づくりに
かかわってくれるだろう？

島根県雲南市の事例を参考に、参加者
みんなで考えます。

◆主催：チームはつかいち

****お問い合わせ先**** 廿日市市民活動センター
廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>
f <https://www.facebook.com/shiminkatsudo.hatsukaichi>

****ネットワーク現在の状況****
(平成28年6月末現在)
登録団体 **165** 団体

市民活動情報紙 さくらdeファミリー

提案型連携事業決定！

提案型連携事業は、市民活動センターに集う市民活動団体同士が連携し、事業や活動を通して、お互いに支え合うことで他の団体に興味を持ち、理解することによりそれぞれの得意分野を活かした、よりよい活動が展開されることを目的として実施します。応募した団体が6月9日の運営協議会でプレゼンテーションし、審査・選考した結果、次の事業に決定しました。

●みやうち冒険あそび場

・平成28年3月27日プレオープン
7/10・8/7・9/11・10/9・11/13
12/4・1/15・2/12・3/5

いずれも日曜日10時～15時

★「自分の責任で思いきり遊ぶ」
公園を一日借りて、子どもが
五感を使って徹底的に遊ぶ
「あそび場」を展開する

主催：青少年夢プラン実行委員会

連携：はつかいちレクリエーション

●かよちゃん学級

・7月28日(木)
8月4、18、25日(木)
12月22日(木)

★孤立しがちな子ども達の支援
を目的に、食事や勉強、あそび
を一緒にやる

主催：青少年育成廿日市市民会議

連携：廿日市PTA連合会

●世界のボードゲームを楽しもう ～良いゲームを知ろう～

・11月開催予定
★世界で遊ばれている良質のゲーム
を実際に楽しんでもらい、ボード
ゲームの良さを知ってもらう

主催：いち・に・さん

連携：NPO法人 おおのの風

(永慶寺川の自然を守る会【AKGいいとも隊】)

地域交流事業

夏休み宿題解決工作教室

◆日時：7月29日(金)
9:30～12:30

◆場所：市民活動センター

◆定員：30名(先着順)

対象：小学生

◆内容：Xジャイロ(工作)
：ブラックライトシアター(鑑賞)

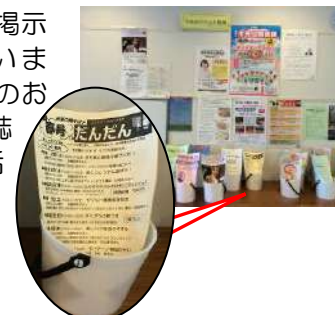
◆参加費：500円(軽食付き)



※Xジャイロは筒形の飛行遊具で、手首のスナップを利かせ回転力をつけて飛ばします。

掲示コーナーご活用ください

1階北口に団体用の掲示コーナーを設けています。イベントや講座のお知らせ、団体の広報誌設置など、PRにご活用ください。(掲示コーナーご利用の際は、受付までお申し出ください。)



夏季休館日

8月14日(日)～8月16日(火)

協働推進課からこんにちは

新しいメンバーです



地域貢献活動保険をご存知ですか

市民活動ネットワーク登録団体のみなさんが安心して、地域貢献活動を行うことができるよう、活動中の思わぬ事故を対象とした保険制度です。

なお、保険の対象となる地域貢献活動には、一定の要件がありますので、詳しくはお問合せください。

お問合せ 協働推進課(Tel0829-32-3810)

ネットワーク団体紹介 *しりあっChaO*

雨空でうっとおしい天気が続くこの時期、そんな憂鬱をパァ〜っと吹き飛ばすような団体が新たな仲間に加わってくれました。スポーツや読書など、得意分野を通して地域のみなさんと交流し、自分たちも地域も元気になる。ボランティア活動の目指す1つの理想の形ですね。

小さい魔女

子どもに本を手渡すことにつながる活動と、そのための勉強会をしています。本を紹介するためにはまず本を知ることから。古典児童文学の課題本を読んてくる読書会もしています。会員の中には、保育士や図書館司書もいます。皆、家事や子育てをしながら、ボランティア活動中です。

グループ名は、会員のひとりが大好きな『小さい魔女』（オトフリート・プロイスラー 作 大塚勇三 訳 学習研究社）からいただきました。

質の良い児童文学は成長物語が多く、つらいことを乗り越えた達成感や満足感を味わうことができます。読み終わったときに満たされた気持ちになれる本は、生きる力につながると信じています。読書離れが進んでいる現代ですが、本の楽しさや面白さを子どもたちに伝えていきたいと思っています。

—実践活動—

- ・小学校や保育園・幼稚園でのおはなし会（絵本の読み語り、ストーリーテリング〈お話を覚えて語る〉、わらべうた、詩など）
- ・廿日市市内の小学校でのブックトーク（本の紹介）
- ・はつかいち図書館でのおはなし会



★おすすめの古典児童文学の一部を紹介します。

- ・『トムは真夜中の庭で』（フィリパ・ピアス 作 高杉一郎 訳 岩波書店）
- ・『ラモーナとおかあさん』（ベバリイ・クリアリー 作 松岡享子 訳 学習研修社）
- ・『小さい牛追い』（マリー・ハムズン 作 石井桃子 訳 岩波書店）

問合せ先：0827-57-5945【代表：白石】

剣志会

剣道は稽古を続けることによって心身を鍛錬し人間形成を目指す「武道」です。剣道は相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる修行です。

剣志会は、日本の文化である剣道を学び、青少年の心身の鍛錬・技術の向上を図り、強く・正しく・明るい青少年を育成し、実社会に貢献できる人間性を養成することを目的に活動をしています。

夏の錬成合宿や暑中稽古、寒稽古、剣士・指導者・保護者もみんなで楽しめるレクリエーション等も取り入れています。

また、昭和35年から県下少年剣道大会を主催しており、広島県内はもとより九州など西日本地区の剣道クラブにも参加していただいています。この大会を通じて、剣士たちが友情を深め、生涯にわたって剣道に親しみ、剣道を愛する人になれるよう期待しています。

稽古日は、毎週水曜日と土曜日の18:30～21:00まで、場所は七尾中学校体育館で行っています。剣道に興味のある方は、体験もできますので見学に来ていただけると幸いです。

問合せ先：0829-31-6778【担当：中下】



平成27年度卒業生を送る会

廿日市市グラウンドゴルフ協会

<仲良く！楽しく！元気よく！>をモットーに誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも出来る生涯スポーツとして昭和57年に鳥取県泊(とまり)町で誕生しました。広島市安佐南区の在校生1,000人を超すマンモス小学校ではグラウンド・ゴルフクラブを作り、クラブ活動として楽しんでいます。各地域でも小学生や高校生とのグラウンド・ゴルフ交流会を毎年定期的に実施し、クラブにも触ったことのない初心者も、体験して大喜びし好評を得ています。老人会や町内会で活動の一環として毎年グラウンド・ゴルフ大会が開催され、老若男女問わず愛されるスポーツとして普及し、多くの人々に愛好され、近くの公園などでプレーを楽しんでいる風景がよく見られます。

現在の登録会員数は広島県が6,400名、当協会は18クラブ、400名余りの会員で交流促進と親睦、また健康維持のため廿日市市内でグラウンド・ゴルフの交歓大会を年12回程開催しています。

平成27年度からは国体の公開競技に採用され、ますますグラウンド・ゴルフの愛好者が増えています。この楽しさをぜひ貴方も体験してみてください。

・主に体験出来る場所は、阿品台野球場（阿品公園内）
土・日・祭日を除いた毎朝 8:30～9:30

問合せ先：0829-39-4685【代表：吉本】



広島広域公園のサブグラウンド

創立10周年記念 廿日市市合唱祭 盛会裡に終わる

廿日市市合唱祭は今年10回目を迎え、5月22日さくらびあ大ホールに於いて、29合唱団延べ690余名がステージに立ち、入場者数は約1,400名だった。それぞれの合唱団の特徴を生かした様々なジャンルの曲の演奏で、心のつながりを深めた楽しい合唱祭だった。また10周年を記念し、合唱音楽の広がりを廿日市から発信しようと、近隣の大竹市と佐伯区の合唱団にも賛助出演を依頼した。合唱祭を作り上げてきた方達や陰で支えていただいたすべての皆様に感謝し、10年継続できたことを祝うとともに、これからも合唱の持つ力で笑顔・思いやり・感謝・絆など、人としての心の豊かさと温もりのあるまちづくりに寄与する合唱祭になるように努めていきたい。合唱団員の合唱連盟に対する所属意識と目的意識を高めるためのロゴマークを募集し、キャッチコピー「響きあう 心が織りなす ハーモニー」のもと、今後とも廿日市市合唱連盟の活動をさらに進めていきたい。



廿日市市合唱連盟
ロゴマーク